

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

中札内村まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道河西郡中札内村

### 3 地域再生計画の区域

北海道河西郡中札内村の全域

### 4 地域再生計画の目標

本村の総人口は1960年まで5,000人台を維持していたが、1965年に4,737人と5,000人を下回り、その後も減少を続け1975年には3,000人台に突入した。

その後、1980年まで減少は続いたが、1985年には増加に転じ、1995年にかけて緩やかに上昇した。これは、1983年に中札内高等養護学校が開校したことや、1986年に着工した札内川ダム工事の関係者が村に移り住んだことが影響している。

1996年に札内川ダムの工事が終了すると再び減少するが、定住化対策の一環として2008年にときわ野分譲地の造成が開始され、2000年代は4,000人前後を維持し、2020年には3,917人となった。今後は、若年人口の減少と老年人口の増加を伴いながら加速度的に減少が進むと見込まれ、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来人口推計（平成24年1月推計）」によると、2040年には3,000人台前半に減少すると推計されている。

人口を年齢3区分別で見ると、年少人口（0歳～14歳）は1960年から1975年にかけて大きく減少し、その後も減少し続けている（2020年498人）。

生産年齢人口（15歳～64歳）は総人口と類似した増減を見せているが、2020年には2,290人と、減少の度合いは年少人口よりもやや緩やかになっていることから、年少人口である乳幼児から中学生までの人口減少が総人口の減少に大きく影響していることがわかる。

一方で老年人口（65歳以上）は平均寿命が延びたことなどにより、年々増加を

続け2020年には1,129人となっている。2040年には村の総人口の40%を超えると予測されている。その場合、生産年齢の村民1.21人で1人の高齢者を支えることになる。

自然動態を見ると、1990年代中盤に死亡数が出生数を上回る自然減に転じ、2000年代にはマイナス2桁台に突入した。出生数が30人程度で推移している一方で、死亡数が徐々に増加していることが原因と推測される（2020年12人の自然減）。なお、合計特殊出生率は、北海道全域及び全国の平均値は上回っているものの、2019年には1.45に留まっている。社会動態を見ると、年度によって変動は大きいものの、1990年代は転出数が転入数を上回って社会減となる年度が増加し、2000年以降はプラスとマイナスを往復する状況が続いている（2020年11人の社会増）。本村においては、1980年代までは転入数と出生数の超過が総人口の増加に繋がっていたものの、その後は大きな変化が無く、総人口が横ばいとなる原因となっている。

今後人口が減少すると、労働力が低下し、村の基幹産業である農業や地域生活を支える商工業が衰退し、地域経済の縮小や地域コミュニティの担い手不足等の課題が生ずる。

これらの課題に対応するため、以下の事項を本計画の基本目標として掲げ、中札内村らしさを特徴づける「日本で最も美しい村」をまちづくりの柱とし、健康な村、文化の香りあふれる村の実現に向け、定住人口の確保や観光振興など、まちづくりに着実な歩みを進め、人口減少に歯止めをかける。

- ・基本目標1 活力あふれる個性豊かな美しい村づくり
- ・基本目標2 美しい村で「暮らす」人を応援
- ・基本目標3 子どもを産み、育てやすい美しい村づくり
- ・基本目標4 美しい村らしい地域産業の振興とにぎわいの創出

### 【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する地方版総合戦略の基本目標

ア	年間観光入込客数	91.7万人	100万人	基本目標 1
	健康無関心が多い層(20歳～59歳)の健康ポイント事業参加率	13%	25%	
イ	年間社会増減数 (転入 - 転出)	▲12人	▲6人	基本目標 2
ウ	出生数(累計)	—	125人	基本目標 3
エ	新規開業件数(累計)	—	2事業所	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

#### ① 事業の名称

中札内村まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 活力あふれる個性豊かな美しい村づくり事業

イ 美しい村で「暮らす」人を応援する事業

ウ 子どもを産み、育てやすい美しい村づくり事業

エ 美しい村らしい地域産業の振興とにぎわいの創出事業

#### ② 事業の内容

ア 活力あふれる個性豊かな美しい村づくり事業

次代を担う子どもたちを地域全体で支え育て特色ある教育活動の推進、高齢になっても安心して暮らし続けることができる地域づくり、地域の農畜産物を活用した食と健康づくり事業のほか、中札内村の観光資源を効果的に発信し、その魅力をさらに高めることで特色ある観光振興を図り、交流人口や関係人口の増加を図る事業。

イ 美しい村で「暮らす」人を応援する事業

「とちぎ帯広空港」に近く、高規格道路「帯広広尾自動車道」を通じて道央圏にもつながる道路網が整備されている地理的特性を活かし、本村への移住定住者に対する経済的な負担の軽減、多様なライフスタイルやニーズに対応した住環境づくりを進め、移住定住を促進する事業。

#### ウ 子どもを産み、育てやすい美しい村づくり事業

健やかな妊娠生活、安心して出産できる環境づくり、子どもの健やかな成長・発達支援と育児不安の軽減、子育てニーズに応じた保育サービス等を充実し、子育てに対するさまざまな負担の軽減を図る事業。

#### エ 美しい村らしい地域産業の振興とにぎわいの創出事業

地場産品の高付加価値化や他産業との連携により、新たな販路や消費拡大に取り組むとともに、起業、業務拡大に対する支援を行い、地域経済の活性化と雇用を創出する事業のほか、まちなかが新しい機能や役割を担い、生活者の利便性や新しいにぎわいを生み出していくため、住民同士が交流できる拠点づくりを進める事業。

※なお、詳細は第2期中札内村まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

#### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

#### ④ 寄附の金額の目安

4,000千円（2021年度～2024年度累計）

#### ⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月頃に中札内村総合行政推進委員会による外部評価を行い、施策ごとのK P Iを踏まえ、必要に応じて事業の見直しを行う。

検証結果については、村ホームページにより公表する。

#### ⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで